

議事要旨(3) 無形資産に係る会計基準の検討

冒頭、新井副委員長（専門委員長）より、無形資産プロジェクトにおける今後の進め方について審議を頂きたい旨の説明が行われ、続いて中川専門研究員より、説明資料[審議事項(3)]に基づいて具体的な説明が行われた。委員からの主な意見等は以下のとおりである。

- ・無形資産に関する検討経緯のとりまとめを作成することに賛成する。日本においては馴染みの薄い論点であり、実務上、外部の専門家に評価を依頼したケースがある。この点を踏まえると、無形資産の具体例、無形資産の評価方法等について具体例という形でとりまとめに追加すれば、今後の実務の参考資料としても役に立ち有用性が増すのではないかと考える。
- ・平成 20 年の企業結合基準の改正時に、企業結合時の無形資産の識別についても一部改正が行われたが、基準の書き込み等が不十分であり、実務で判断に迷うケースが出ているのではないかと考えている。こうした点を踏まえて、何らかの対応をすることが望ましいと考えていたが、一方で意見が大きく分かれていることも理解する。従って、これまでの無形資産の検討経緯のとりまとめを行うのであれば、実務で役に立つ情報が反映されれば望ましいと考える。

最後に、新井副委員長から、事務局提案で進めることにご了解いただいたので、今後、無形資産に関する検討経緯のとりまとめ文書の作成作業を進め、次回以降では文案を提示し、審議いただきたいと考えている旨の説明があった。